

1 津市コミュニティバス

(1) 概要

市内8地域において、主に民間路線バスの通っていない地域等で、地域住民の移動手段の確保を目的として津市が運行している。

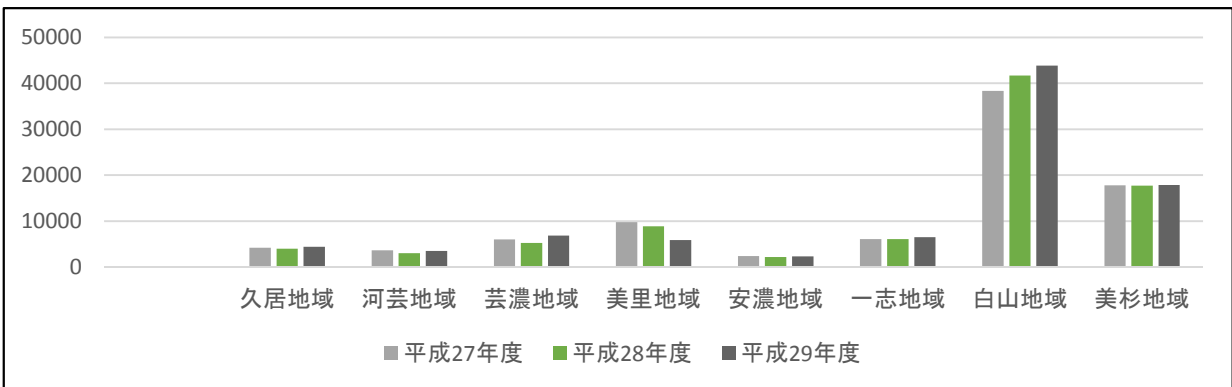
買い物や通院での利用が多いが、白山地域では、中学生や高校生の通学手段としても利用されている。

(2) 利用状況

平成29年度前半は前年度を下回る利用者数であったが、9月25日から津市高齢者外出支援事業が開始され、津市オリジナルICカード「シルバーエミカ」の提示によって市内在住の65歳以上の方が無料で利用できることとなったため、年度後半は前年度を上回る利用者数であった。結果として、美里地域を除く全地域において利用者数が前年度を上回った。(美里地域では、平成29年4月にスクールバスが導入されたことにより、小中学生の通学利用が無くなった。)

○ 津市コミュニティバス利用者数 (単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	比較 (H29/H28)	比較 (H29/H27)
久居地域	4,179	4,007	4,394	109.7%	105.1%
河芸地域	3,628	3,021	3,465	114.7%	95.5%
芸濃地域	6,013	5,238	6,816	130.1%	113.4%
美里地域	9,770	8,833	5,847	66.2%	59.8%
安濃地域	2,365	2,199	2,317	105.4%	98.0%
一志地域	6,097	6,043	6,474	107.1%	106.2%
白山地域	38,314	41,655	43,823	105.2%	114.4%
美杉地域	17,756	17,742	17,833	100.5%	100.4%
合計	88,122	88,738	90,969	102.5%	103.2%



※ 美里地域、白山地域、美杉地域（川上ルート、丹生俣ルート）は、4週間（5～6月、8月、11月、2月の各1週間）の乗降調査から算出した推計値

※ ルート別の利用者数については、【別添資料①】を参照

(3) 事業費の状況

運行経費は年々増加しており、2年間で5,574,181円(約3.5%)増加している。運行経費増加の主な原因は、運転士不足に伴う委託料の増加である。

収入には、運賃や定期券・回数券の販売等の使用料と国からの補助金があり、使用料は津市高齢者外出支援事業の開始により大きく減少した。また、補助金も減少傾向が続いており、収支率は悪化している。

平成30年度は、年度当初から津市高齢者外出支援事業が適用されることから、さらなる収入の減少が見込まれる。

○ 平成27年度津市コミュニティバス事業費(単位:円)

	運行経費 (A)	使用料収入 (B)	補助金収入 (C)	純支出 (A-B-C)	収支率 (B/A)
久居地域	5,637,926	710,850	825,000	4,102,076	12.6%
河芸地域	5,412,282	584,700	1,438,000	3,389,582	10.8%
芸濃地域	9,878,806	1,042,100	3,092,000	5,744,706	10.5%
美里地域	25,539,840	1,339,200	9,033,200	15,167,440	5.2%
安濃地域	5,023,972	388,600	698,000	3,937,372	7.7%
一志地域	12,758,840	962,500	3,949,000	7,847,340	7.5%
白山地域	37,609,920	4,291,050	0	33,318,870	11.4%
美杉地域	49,793,614	3,131,750	19,266,900	27,394,964	6.3%
合計	151,655,200	12,450,750	38,302,100	100,902,350	8.2%

※ 車両購入に係る経費及び収入は除いている

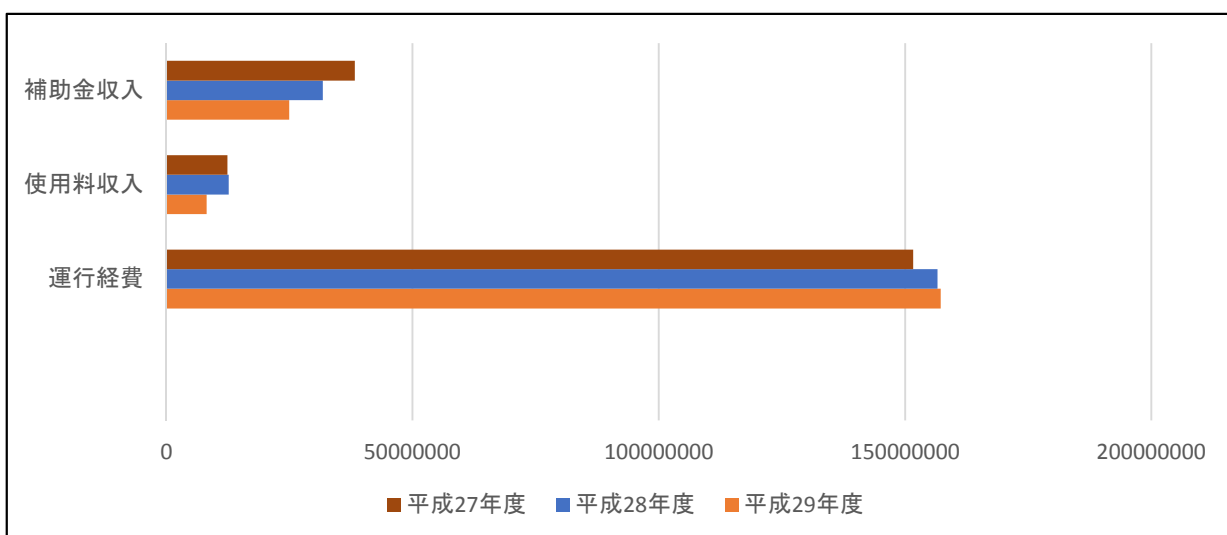
○ 平成28年度津市コミュニティバス事業費(単位:円)

	運行経費 (A)	使用料収入 (B)	補助金収入 (C)	純支出 (A-B-C)	収支率 (B/A)
久居地域	5,777,763	687,200	811,000	4,279,563	11.9%
河芸地域	6,623,766	485,000	1,512,000	4,626,766	7.3%
芸濃地域	10,313,833	931,100	2,416,000	6,966,733	9.0%
美里地域	25,434,000	1,189,900	7,482,500	16,761,600	4.7%
安濃地域	5,260,795	407,800	1,008,000	3,844,995	7.8%
一志地域	13,244,840	983,500	2,906,000	9,355,340	7.4%
白山地域	39,528,000	5,046,900	0	34,481,100	12.8%
美杉地域	50,408,321	2,927,200	15,639,500	31,841,621	5.8%
合計	156,591,318	12,658,600	31,775,000	112,157,718	8.1%

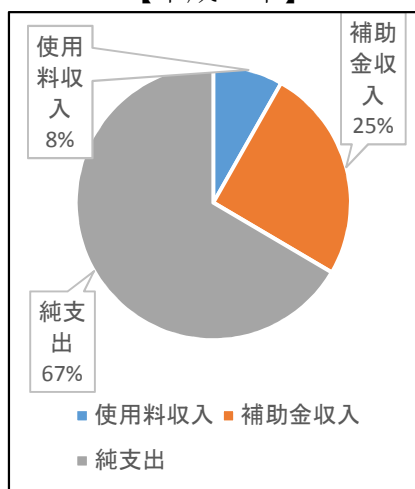
○ 平成29年度津市コミュニティバス事業費（単位：円）

	運行経費 (A)	使用料収入 (B)	補助金収入 (C)	純支出 (A-B-C)	収支率 (B/A)
久居地域	6,055,280	530,400	800,000	4,724,880	8.8%
河芸地域	6,395,365	248,300	1,490,000	4,657,065	3.9%
芸濃地域	10,791,055	420,900	2,776,000	7,594,155	3.9%
美里地域	25,326,000	578,400	5,377,000	19,370,600	2.3%
安濃地域	6,015,641	268,050	604,000	5,143,591	4.5%
一志地域	13,220,700	499,500	2,406,000	10,315,200	3.8%
白山地域	38,944,800	4,092,450	0	34,852,350	10.5%
美杉地域	50,480,540	1,551,500	11,542,000	37,387,040	3.1%
合計	157,229,381	8,189,500	24,995,000	124,044,881	5.2%

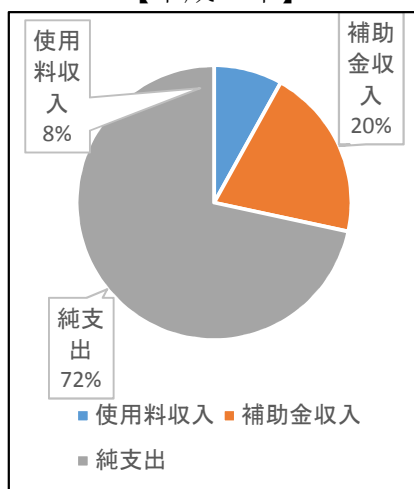
※ 車両購入に係る経費及び収入は除いている



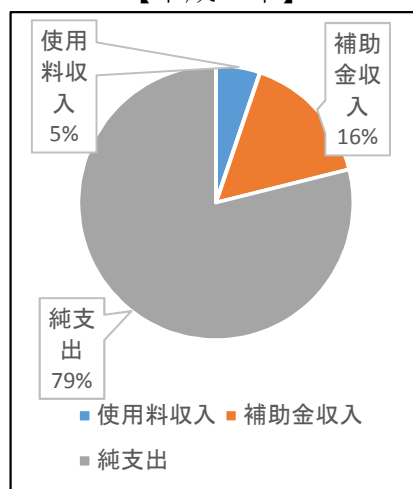
【平成27年】



【平成28年】



【平成29年】



2 廃止代替バス

(1) 概要

三重交通（株）の路線バスが廃止となった路線を、津市が運行している。

運賃体系や定期券等の利用については、三重交通（株）の路線バスと全く同じ。

平成29年4月に榊原線の一部（榊原車庫前～榊原温泉口駅）を廃止代替化、平成29年10月に津新町大里線を延伸した。（津新町駅～サオリーナ前）

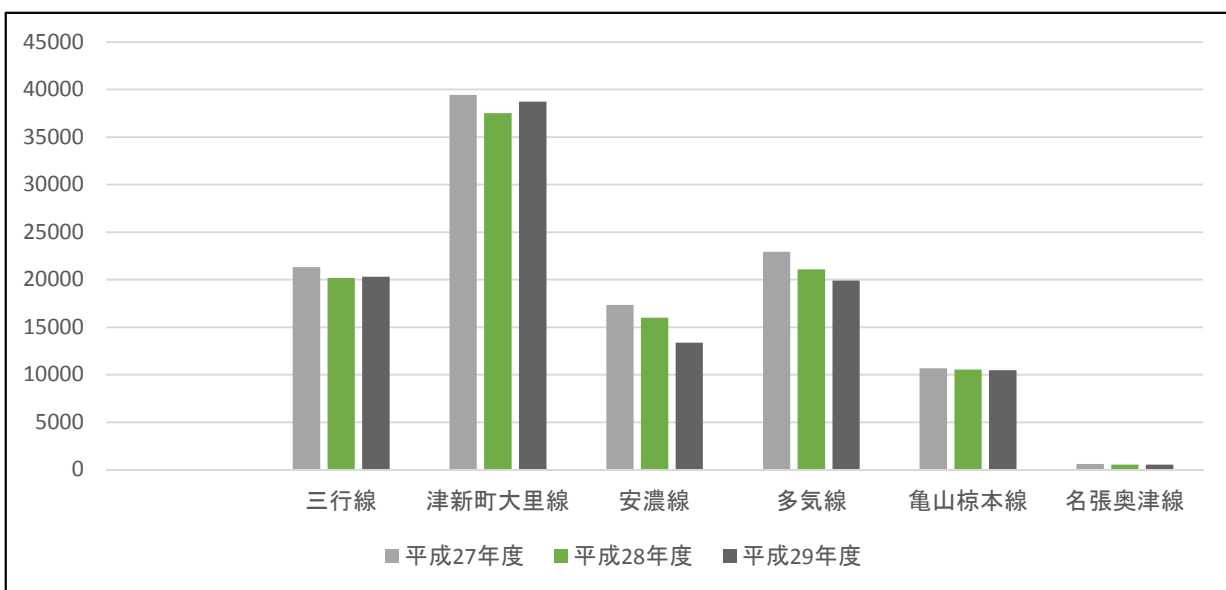
(2) 利用状況

全ての路線において、2年間で利用者数は減少しているが、平成28年度から平成29年度にかけては利用者数が増加した路線もある。

安濃線（立合系統）は利用者数の減少が著しく、2年間で20%以上減少している。

○ 廃止代替バス利用者数（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	比較 (H29/H28)	比較 (H29/H27)
三行線	21,315	20,177	20,320	100.7%	95.3%
津新町大里線	39,439	37,525	38,736	103.2%	98.2%
安濃線 (立合系統)	17,332	15,990	13,365	83.6%	77.1%
多気線	22,929	21,080	19,898	94.4%	86.8%
亀山棕本線	10,684	10,527	10,481	99.6%	98.1%
名張奥津線	599	544	546	100.4%	91.2%
榊原線	-	-	580	-	-
合計	112,298	105,843	103,926	98.2%	92.5%



※ 4週間（5～6月、8月、11月、2月の各1週間）の乗降調査から算出した推計値

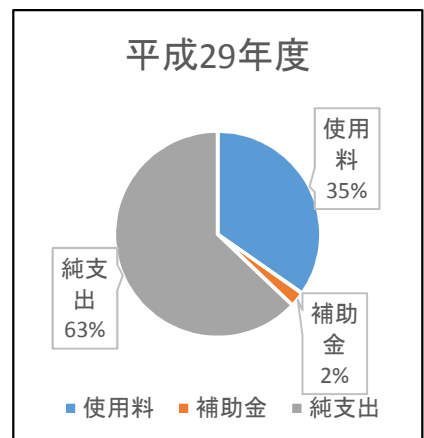
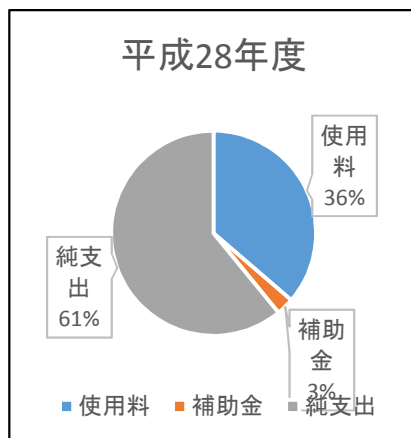
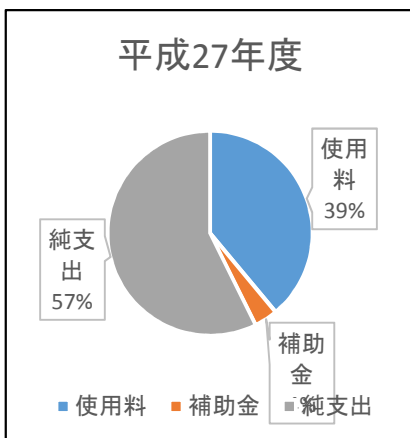
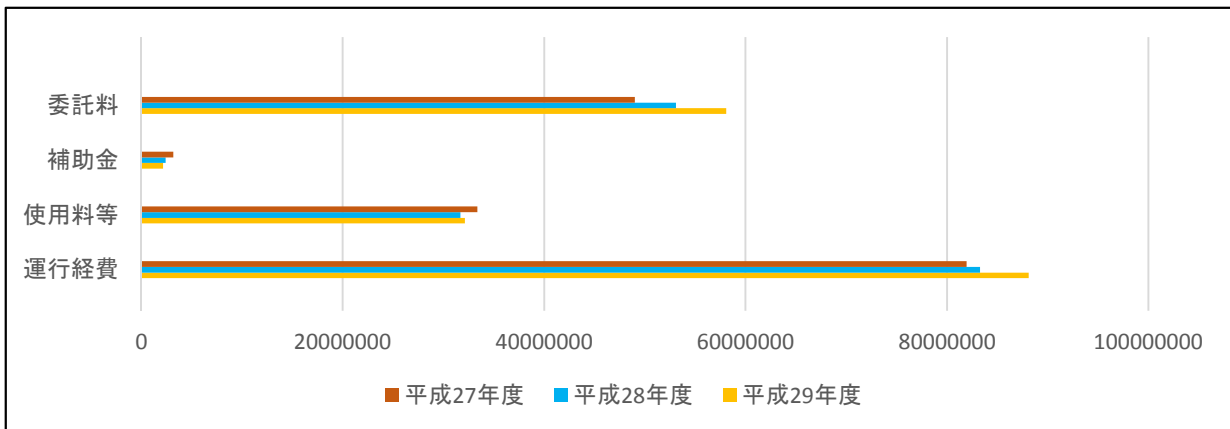
(3) 事業費の状況

津市コミュニティバスと同様の理由により、純支出は年々増加している。津新町大里線を延伸したこともあり、平成29年度は前年度比で約1割の増となった。

○ 廃止代替バス事業費（単位：円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	比較 (H29/H28)	比較 (H29/H27)
運行経費 (A)	81,933,500	83,262,500	88,093,000	105.8%	107.5%
使用料等※ (B)	33,382,000	31,694,000	32,121,500	101.3%	96.2%
補助金(幹線) (C)	1,483,500	1,487,500	1,461,500	98.3%	98.5%
委託料(D) =(A) - (B) - (C) + 税	50,833,440	54,087,480	58,870,800	108.8%	115.8%
補助金収入 (フィーダー) (E)	1,695,900	926,000	719,000	77.6%	42.4%
純支出(F) =(D) - (E)	49,137,540	53,161,480	58,151,800	109.4%	118.3%

※ 「名張奥津線」の三重交通(株)負担金を含む



3 三重交通バス

(1) 概要

三重交通（株）が運行する民間路線バス。

(2) 利用状況

平成29年度は、利用者数が前年度比で約4.3%減少した。大きく減便した路線（榊原線、神戸白塚線）において、利用者数の減少が顕著となっている。

○ 三重交通バス利用者数（単位：人）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	比較 (H29/H28)	比較 (H29/H27)	便数 (H28▶H29)
津太陽の街線	—	32,100	31,000	96.6%	—	平日 23 ▶ 23 休日 21 ▶ 21
穴倉線	—	40,600	37,800	93.1%	—	平日 12 ▶ 12 休日 12 ▶ 12
安濃線 (市場系統)	—	87,900	87,700	99.8%	—	平日 21 ▶ 21 休日 21 ▶ 21
平木線	—	149,300	143,500	96.1%	—	平日 26 ▶ 26 休日 20 ▶ 20
榊原線	—	297,500	255,000	85.7%	—	平日 58 ▶ 42 休日 51 ▶ 38
津三雲線	—	87,700	90,700	103.4%	—	平日 27 ▶ 24 休日 26 ▶ 23
久居高茶屋線	—	92,100	84,400	91.6%	—	平日 38 ▶ 33 休日 26 ▶ 22
波瀬線	—	134,500	127,900	95.1%	—	平日 20 ▶ 20 休日 18 ▶ 18
香良洲線	—	232,200	240,600	103.6%	—	平日 38 ▶ 38 休日 30 ▶ 30
棕本線	—	1,044,500	994,400	95.2%	—	平日 97 ▶ 86 休日 77 ▶ 72
殿舟団地線	—	81,000	79,300	97.9%	—	平日 20 ▶ 20 休日 17 ▶ 17
神戸白塚線	—	401,900	349,400	86.9%	—	平日 59 ▶ 42 休日 34 ▶ 31
城山線	—	414,300	403,500	97.4%	—	平日 69 ▶ 69 休日 45 ▶ 45
津西ハイ タウン線	—	706,200	690,600	97.8%	—	平日 70 ▶ 72 休日 58 ▶ 57
看護大学 夢が丘線	—	180,400	179,100	99.3%	—	平日 31 ▶ 31 休日 22 ▶ 22
泉ヶ丘 片田団地線	—	284,900	282,400	99.1%	—	平日 33 ▶ 32 休日 34 ▶ 34
津なぎさ まち線	—	67,100	78,900	117.6%	—	平日 14 ▶ 20 休日 14 ▶ 20
津駅西団地 循環線	—	188,200	172,100	91.4%	—	平日 35 ▶ 32 休日 28 ▶ 28
国立病院線	—	42,300	42,100	99.5%	—	平日 21 ▶ 19 休日 7 ▶ 7
合計	—	4,564,700	4,370,400	95.7%	—	

※推計値（三重交通(株)提供)

4 むるっと・つーバス

(1) 概要

高齢者の通院や買い物の足を確保し、外出を支援するとともに、中心市街地の活性化を目指し、平成16年4月から運行されている。

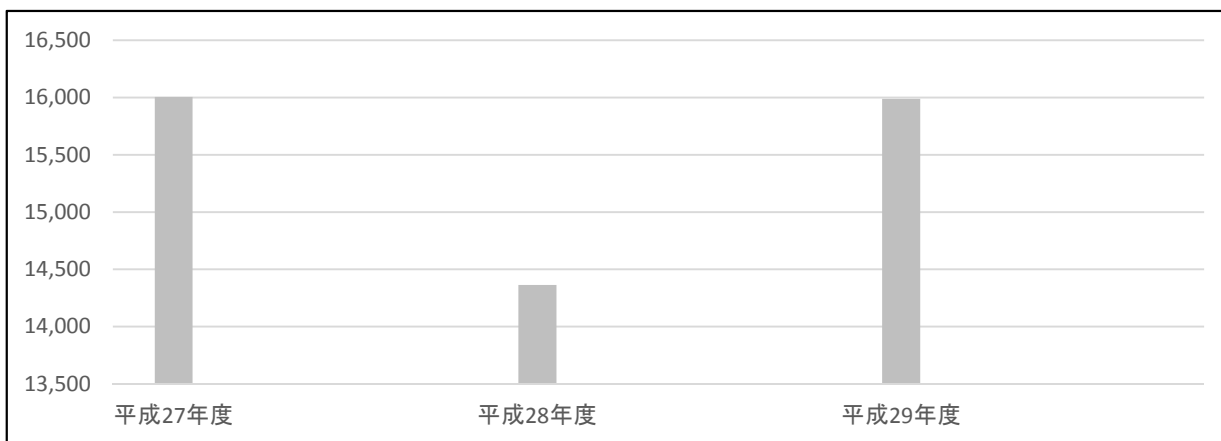
実施主体はNPOバスネット津で、津市からは補助金（年額400万）が交付されている。

(2) 利用状況

平成28年度は利用者数が大きく減少したものの、平成29年度は平成27年度並みの利用者数となった。

○ むるっと・つーバス利用者数（単位：人）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	比較 (H29/H28)	比較 (H29/H27)
16,004	14,362	15,989	111.3%	99.9%



5 地域住民運営主体型コミュニティ交通

(1) 概要

民間路線バスやコミュニティバスが運行されていない地域において、地域住民の移動手段を確保すべく、地域住民で組織された運営委員会によって乗合ワゴン（乗合タクシー）が運行されており、津市からは補助金（運行経費から収入を差し引いた赤字部分の4分の3相当額）が交付されている。

津地域の高松山団地においては平成25年4月から、白山地域の二俣地区及び上佐田地区においては平成28年3月から、本格運行が開始されている。

(2) 利用状況

ア 高松山団地乗合ワゴン

利用者数は概ね横ばいで推移しているものの、1便あたりの利用者数が少なく、乗合率の向上が課題である。

イ 二俣地区乗合タクシー

平成28年度の利用者数は61人であったが、平成29年度の利用者数は9人で、6月以降は利用が無い。地区住民が好意で送迎してくれるようになった模様。

ウ 上佐田地区乗合タクシー

平成29年度は、平成28年度に比べ運行便数は同程度（H28：18便、H29：17便）であったが、乗合率が大きく低下したことにより、利用者数も大きく減少した。乗合率の向上が課題である。

○ 地域住民運営主体型コミュニティ交通の利用者数（単位：人）

	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	利用者数	1便あたり	利用者数	1便あたり	利用者数	1便あたり
高松山団地	61	1.1	67	1.0	69	1.0
二俣地区	11(33)	2.1	61	1.8	9	1.8
上佐田地区	0(4)	2.0	36	2.0	20	1.2
合計	72(98)		164		98	

※（ ）内は、平成27年12月～平成28年2月の実証運行期間を含む

